

丹沢大山登山環境意識調査

丹沢大山ボランティアネットワーク

調査期間 平成 26 年 6 月 20 日 ~ 11 月 30 日

目 次

丹沢大山登山環境意識調査 概要	1
-----------------	---

丹沢大山登山環境意識調査 報告

1 はじめに	2
2 調査方法	2
3 一般登山者の属性	2
4 安全登山の意識	4
5 登山の目的は？	5
6 丹沢大山登山の魅力は？	5
7 丹沢大山地域の行事への参加	6
8 登山道等施設整備の評価と必要な施設	6
9 水場の利用	7
10 丹沢登山者の環境意識度合い	8
11 自然環境を保全する必要な取組み	11
12 まとめ	11

丹沢大山登山環境意識調査 アンケート用紙	13
----------------------	----

グラフで見るアンケート結果

1 全体	15
2 男女別	19
3 登山回数別	24

丹沢大山登山環境意識調査 概要

調査目的 丹沢大山地域での登山にかかわる利用の実態、目的、自然環境保全意識などを把握するため。

調査期間 平成 26 年 6 月 20 日 ~ 11 月 30 日

調査方法 NPO法人みろく山の会、NPO法人丹沢自然学校、NPO法人四十八瀬川自然村の協力により、大倉、西丹沢、大山登山口付近で調査票を配布した。

秦野・宮ヶ瀬・丹沢湖の各ビジターセンター、西丹沢自然教室、大山観光案内所、ヤビツ峠売店、鍋割山荘、尊仏山荘、みやま山荘、蛭ヶ岳山荘へアンケートと回収箱を置かせていただいた。



湘南自然観察クラブ 田中さん、
かながわフィールドスタッフクラブ
樋田さん製作 アンケート回収箱

本文中のコメントは、平成 16 年に実施された丹沢大山総合調査の「登山者の登山環境に関する意識調査」の執筆者である、日本大学生物資源科学部生物環境工学科 糸長浩司教授によるものです。

丹沢大山登山環境意識調査 報告

丹沢大山ボランティアネットワーク

1 はじめに

丹沢大山ボランティアネットワーク（以後「丹沢ボラネット」という）は、登山者のアンケート調査を実施しました。丹沢大山地域で登山に関わる利用の実態、目的、自然環境保護保全意識などを調べました。

この調査は平成 16 年度の「丹沢大山総合調査」以後、丹沢大山登山者の登山意識はどのようになっているかを調べる目的です。

この十数年の様々な取り組みにより、少しですが丹沢再生が見え始めてきました。「丹沢主要登山道利用実態調査」「丹沢大山の水場水質調査」と共に、丹沢再生の良い資料の積み重ねになれば幸いです。



塔ノ岳を望む表尾根登山道

2 調査方法

調査期間は平成 26 年 6 月～11 月、「みろく山の会」「丹沢自然学校」「四十八瀬川自然村」「丹沢自然保護協会」の協力により、登山者へアンケート用紙を配布しました。秦野、宮ヶ瀬、丹沢湖の各ビジターセンター、西丹沢自然教室、ヤビツ峠売店、大山観光案内所、鍋割山荘、みやま山荘、尊仏山荘及び蛭ヶ岳山荘へ設置したアンケート回収箱で回収する方法で実施しました（一部直接回収）。また、アンケート用紙は、回収箱を設置した施設へも置いて頂きました。施設の利用者や宿泊登山者の協力も得られるようにし、あわせて丹沢大山ボランティアネットワーク所属団体への調査も実施しました。

調査項目は、平成 16 年に実施された丹沢大山総合調査（以後「総合調査」という）の「登山者の登山環境に関する意識調査」をベースに、「回答者の属性や登山の準備状況、目的」、「施設の整備状況や利用状況」、「自然環境への影響」など 12 項目を設定しました。

アンケート用紙は、739 枚（ビジターセンター等 226 枚、売店・観光案内所 85 枚、山小屋 168 枚、直接回収 164 枚、ボラネット 96 枚）回収しました。

総合調査の一般登山者の回答状況と比較するため、ボラネット団体からの回収分を差し引いた 643 枚を調査対象としました。また、アンケートに裏面があることに気が付かないで回答している方があったため、裏面のアンケート事項については、いずれかの項目に何らかの回答があったものだけを対象（515 枚）として結果を算出しました。

参考 平成 16 年の丹沢大山総合調査の回収数

回収数 1,128 枚（男性 63%（711 人）、女性 30%（338 人）、不明 7%（79 人））

3 一般登山者の属性

回答者のうち一般登山者の男女比は、男性 62.2%（400 人）、女性 36.2%（233 人）で、年齢別

では、40代が20.7%（133人）続いて60代19%（122人）50代18.4%（118人）30代15.9%（102人）となり、総合調査時と比較して世代間の数値の差は小さくなっています。山ガールをはじめとする若者の登山者が増えていることがわかります。60代以上の割合が減少しているのは、働く高齢者の増加も関係しているかもしれませんが、しかし、60代以上の絶対数が減少しているかどうかは、全体の登山者数との関係も考えられます。若者の登山者数が増えたので相対的割合としては、減少しましたが絶対数は減少していないと思われます。



根拠として、登山者調査日の月、曜日、時刻、天候などに影響されますが、全体として登山者が増えていると思われます。

参考資料 丹沢主要登山道利用登山者数調査 **塔ノ岳山頂で昼食中の老若男女登山者達**
2007年 8,529人→2010年 9,378人（大山、塔の岳、蛭ヶ岳登山者数）

	今回調査		総合調査時 (一般登山者)
	全体	一般登山者のみ	
70歳代	8%	5.6%	
60歳代	24%	19.0%	31.4%
50歳代	16%	18.4%	30.3%
40歳代	18%	20.7%	12.1%
30歳代	14%	15.9%	8.3%
20歳代	10%	10.9%	5.3%
10歳代	4%	4.0%	

	今回調査	総合調査時
男	62.2%	63%
女	36.2%	30%

総合調査時：丹沢大山総合調査（平成16年）で実施された登山者等を対象としたアンケート調査結果

職業では、会社員51.8%（333人）と半数以上を占めており、学生6.5%（42人）、公務員6.4%（41人）、自営業5.6%（36人）はほぼ同数で、その他と無職をあわせて19.9%となっています。専業主婦の7%（45人）は、総合調査時と比較して半減しており、働く女性の増加を窺い知ることができます。

	今回調査		総合調査時 (一般登山者)
	全体	一般登山者のみ	
会社員	46%	51.8%	36.0%
学生	6%	6.5%	4.6%
公務員	6%	6.4%	7.8%
自営業	5%	5.6%	8.1%
専業主婦	10%	7.0%	15.0%
その他・無職	24%	19.9%	20.8%

アンケートでは「専業主婦（夫）」となっていますが、回答者に男性なし

丹沢大山地域での登山回数は、「初めて」18.2%（117人）、「2～9回」44.9%（289人）、「10回以上」36.1%（232人）で、登山者のリピート率は高いです。男性が女性に比較してリピーター性が高いです。年齢的には若年層が初心者の方が高く、高齢者ほどリピーター性が高いです。（以下黒アンダーラインは日本大学生物資源科学部生物環境工学科 系長浩司教授のコメントです。）

丹沢は東京の高尾山などと同様に、大都会に近く交通の便も良いです。その上初心者から上級者までも引きつける、変化に富んだ魅力的な山とされていることがわかります。

4 安全登山の意識

(1) 登山届

	初めての登山者	登山回数 2～9回	登山回数 10回以上
届出済	53名	107名	73名
登山口で提出	18名	89名	84名
届出が必要なことを知らなかった	25名	22名	4名
届出が必要なことは知っているが提出していない	15名	61名	57名
記載なし	6名	10名	14名

登山届の提出状況は、「届出済」と「登山口で提出」をあわせて69.4%、「提出が必要なことを知っている」を含めれば91.7%周知されています。しかし、「届出が必要なことを知らなかった」51名には、10回以上の登山経験者も含まれています。初回の登山者は地図の携帯が熟練者と比較して低いです。指導の必要性があります。初回の登山者は登山届の提出について認識が低く、今後の指導が必要です。一方で、熟練の登山者は、意識的に未提出な人たちも一定程度存在し、継続的指導が必要です。

これは登山口での呼びかけや、安全登山啓発活動不足が一因ではないかと考えられます。更に問題があるのは「届け出が必要なことを知っていたが提出をしていない」と答えた人達です。死亡事故を多発する丹沢への登山を安易に考えている登山者がまだ多いです。こちらへの啓発活動こそがより大切です。

丹沢における遭難事故、死亡事故例などの解りやすい感情に訴える資料等での広報活動など、登山者の安全に対する意識向上の対策が望まれます。

(2) 登山装備、準備

	初めて		2～9回		10回以上	
		×		×		×
登山靴	103名	11名	283名	2名	227名	5名
地図	42名	63名	214名	57名	200名	28名
コンパス	22名	79名	153名	117名	146名	82名
ヘッドランプと予備電池	39名	62名	181名	89名	205名	24名

登山の準備装備のうち、登山靴は経験回数にかかわらず、ほとんどの人が着用しています。登山装備について経験者は所持している割合が高く、地図はもとよりヘッドランプの予備電池まで

も、あわせて準備がされています。

気になるのは初心者に地図、ヘッドランプの不所持が所持者より多いことです。中でもヘッドランプの所持率をもっと上げる必要性があります。午後の登山者の中にもヘッドランプ無しの登山者も多く見られます。道を間違え易い初心者にこそ絶対に必要な装備です。丹沢はキレットや崖が多いので、登山道を間違えたとき暗闇での歩行で、転倒転落など死亡事故と直結する大事故等につながりやすいです。

一番所持率が低いのはコンパスで、ビジターセンターや山岳団体の登山教室などでも登山の必需品として使用方法を学ぶ行事もあります。周囲が見える良い日ばかりでないので、地図に付属して普及啓発により、所持率を上げていくことが望まれます。男性は女性に比較して、地図、コンパス、ヘッドランプの装備の比率が高いです。縦走等をする傾向のためでしょうか。

5 登山の目的は？

登山の目的を 10 項目の中から複数回答可能として選んでもらう形式としました。「健康維持増進」45.9% (295 人) が最も多く、「自然観察」36.1% (232 人)、「ハイキング」31.6% (203 人)、「縦走」21.2% (136 人)、「森林浴」21.0% (135 人)、「とにかく山頂を目指す」20.7% (133 人) となりました。丹沢大山の自然の恵みを堪能し、心身ともにリフレッシュする場となっているようです。

総合調査時と比較して、「健康維持増進」は 15 ポイントと大きく増加し「縦走」を目的とする人はマイナス 8 ポイントと今回の調査では一番減少率が大きかったです。

原因として次の項目とも関係しますが、交通の便が良くなり、健康志向、自然堪能の若い登山者、手軽な登山者の増加と関係があると思われます。



岩石を学ぶ西丹沢フィールド学習会（犬越路トンネル前）

6 丹沢大山登山の魅力は？

丹沢大山の魅力 10 項目の中から複数回答可能として選んでもらう形式としました。「丹沢の山並みや眺望」52.9% (346 人)、「交通の便が良い」46.8% (301 人)、「富士山が見える」45.3% (291 人)、「都心に近い」34.4% (221 人)、「植物など四季のうつろい」31.3% (201 人) という結果です。

「丹沢の山並み」「富士山」は総合調査時と同様に、いずれも上位で「交通の便が良い」が大きく増加しています。丹沢大山は電車バスの公共交通機関の利便性も高く、また、比較的登山口まで車が入ることから駐車場の設置要望もあります。後述しますが自家用車の乗り入れについて、自然環境への影響調査でも、総合調査時と比較して「影響が全くない、あまりない」と回答している割合が増加していることから、車の利用者も増加している傾向がわかります。

今後「車の乗り入れが本当に良いのだろうか？」をビジターセンター等で登山者に訴え、考えてもらう必要があるのかもしれない。

7 丹沢大山地域の行事への参加

丹沢大山地域で実施している行事等への参加状況を13項目の中から複数回答可能として選んでもらう形式としました。一番多かった回答は、「記載なし」全体の76.7%で、登山者の多くはイベントとしての登山ではなく、自分の目的、楽しみを持った登山であることが窺えます。

参加行事では「植樹」「森林環境整備」など15.6%（100人）、「ハイキング・ウォーキング」6.7%（43人）、「クリーンハイク（清掃登山）」「登山道整備」など10.6%（68人）という結果となりました。イベントへの参加は、リピーター性が高いほど参加傾向があります。

今後の丹沢の地域行事では、次世代へ丹沢遺産を引き継ぐため、丹沢の再生と観光を連携した環境重視の行事が望まれます。登山道修理、クリーンハイク、自然観察などエコツーリズムの行事が増える事が望ましいです。

最近話題になっている「トレイルレース」「ボッカ駅伝」等行事のあり方について県民や登山者の中で、誤解の無い討論が望まれます。

「記載無し」76.7%から、環境に配慮し環境を考える楽しい行事への参加者を増やしたいものです。



菩提峠でごみ拾い登山をする子供達

8 登山道等施設整備の評価と必要な施設

(1) 登山道等施設の整備状況については、「良好」44.6%、「普通」30.6%、「もっと整備が必要」5.4%となっています。初心者は登山道等の整備状況の認識はまだ不十分ですが、熟練者は整備状況の評価をしています。

整備状況におおむね満足していると思われます。大勢が利用する登山道は案内板、木道、階段、ロープ、水切りなど整備が整ってきています。

登山道の整備の評価は他の山と比べて歩きやすいかどうか、危険箇所を整備が行き届いているかが基準になっているようです。丹沢再生と環境破壊などの観点で、登山者には登山道を観察して頂いたら素晴らしいです。環境啓発活動により5.4%が減ることを望みます。



木道とロープで整備された大倉尾根登山道

(2) 今後必要な登山関連施設

	今回調査	総合調査時
バイオトイレ	57.1%	35.2%
携帯電話の中継塔	35.3%	20.5%
指導標識	21.2%	12.7%
案内板		16.7%
避難小屋	16.9%	3.8%
野外卓・休憩所	12.0%	9.4%
水場	選択項目なし	23.7%

今後必要な施設としては「バイオトイレ」57.1%、「携帯電話の中継塔」35.3%、「指導標や案内板」21.2%、「避難小屋」16.9%という結果です。登山関連施設整備に関しても、初心者の問題意識は薄いです。熟練者は、バイオトイレ、中継塔を希望しています。携帯電話の中継塔の希望者は男性が女性に比較して高いです。男性は縦走する傾向があるためでしょうか。

特に山岳トイレの要望が多くなったことが目につきます。

総合調査時、丹沢大山には土壌処理方式による山岳トイレが7箇所あり、その後今回の調査までに3箇所新たに設置され、引き続き整備が進められています。それにも拘わらず、今回の調査でも設置要望が増えました。多くの登山者は今後も環境に優しい清潔なトイレ整備を望んでいます。

若い丹沢登山者が増加し、丹沢の大衆化による下界の利便性を求めているようにも思われます。

「携帯電話の中継塔」は利便性だけでなく、緊急時の通信手段の確保を、避難小屋も同様に安全性を求める施設整備を要望していることがわかります。また、時代を反映している回答としては、防犯、救助目的のカメラの設置という意見もありました。



避難小屋が充実している三ノ塔

9 水場の利用

丹沢大山地域の水場の利用状況については、「利用したことがある」30.5%、「ない」65%でした。よく利用する水場は、不動ノ峰、塔ノ岳、大倉高原山の家、原小屋平、黍殻山、護摩屋敷の水、竜神の泉、大山、ユーシンロッジがあがっています。初心者は水場利用をほとんどしていません。水場での飲水に対する不安等があるのでしょうか。水場の利用は女性が極端に低いです。衛生的なことを気にしているのでしょうか。

水場の利用や水質調査については丹沢ボラネットが毎年5月継続的に行っています。ボラネット瓦版やホームページに水質調査報告が載っています。

水場の利用は、基本的には大腸菌や一般細菌の有無に関係なく「煮沸」しての利用が原則です。



清掃が行き届いている三の塔避難小屋内

10 丹沢登山者の環境意識度合い

(1) トイレ紙の持ち帰り

	知っている		知らない		記載なし
	持ち帰る	持ち帰らない	持ち帰る	持ち帰らない	
24年度調査	47%		53%		
	98%	2%	54%	46%	
今回調査	56.3%		39.8%		3.9%
	87.6%	12.4%	37.6%	62.4%	

丹沢大山で使用済みのトイレ紙の持ち帰りをお願いしていることの周知状況については、「知っている」56.3%、「知らない」39.8%となっています。

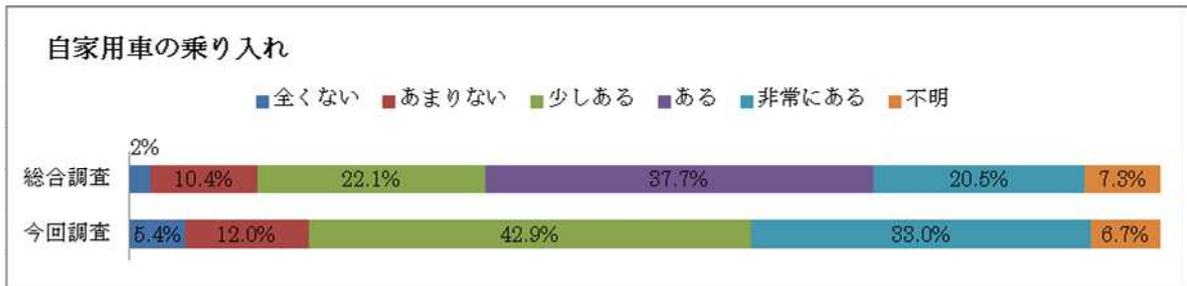
平成24年度調査(県立ビジターセンター及び自然環境保全センター実施)と比較して、9ポイント増加しています。ところが実際に「トイレ紙を持ち帰っている」人は、「知っている」人の87.6%、「知らない」人の37.6%となり、平成24年度調査と比較して10ポイント減少していません。結果として「持ち帰っている」人は増えていません。

バイオトイレが設置され、利用者が増えるほど、山岳トイレのトイレ紙の処分量も増加していると考えられます。今後の環境との関係で課題として残されています。なお、一部では、山のトイレでは紙を使用しないという意見もあります。初心者は汚物の持ち帰りの義務やその行為を実施していない率が熟練より高く、啓もう活動が必要です。

(2) 登山者の環境負荷意識

自然環境への人的な影響について、総合調査と同じ項目と新たに「トレイルレースなどのイベント」を加え6項目を比較しました(ただし今回の調査では「ある」は選択肢にない)。

今回調査では、総合調査と比較していずれも「非常にある」が増加しているが、「少しある」「非常にある」を合計した比率は、「ゴミのポイ捨て」以外すべての項目において減少しています。反対に「全くない」は微増しています。「自家用車の乗り入れ」は、エコカーなど環境へ配慮した車両の開発など、社会的な環境保全の取組みが進められていることも、原因として考えられます。



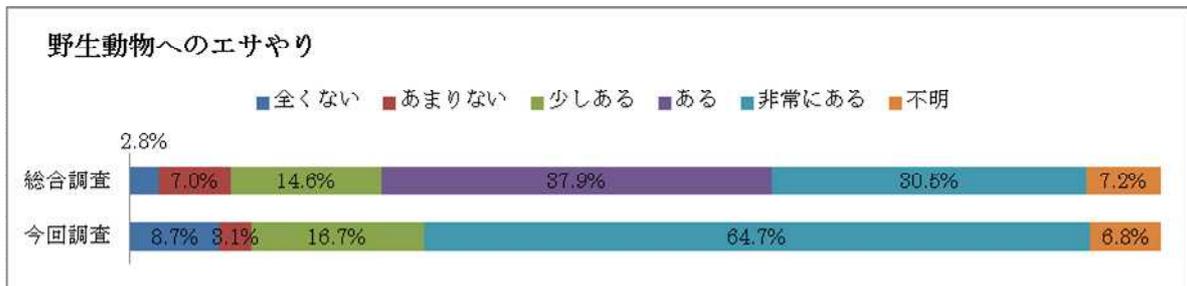
環境への影響が無いと思う人が増えています。低燃費の自動車が増えたのも一因かもしれません。

反面、日本でも自家用車乗り入れ禁止の地域が出てきています。

環境教育などを通しての啓発を進めていきたいものです。

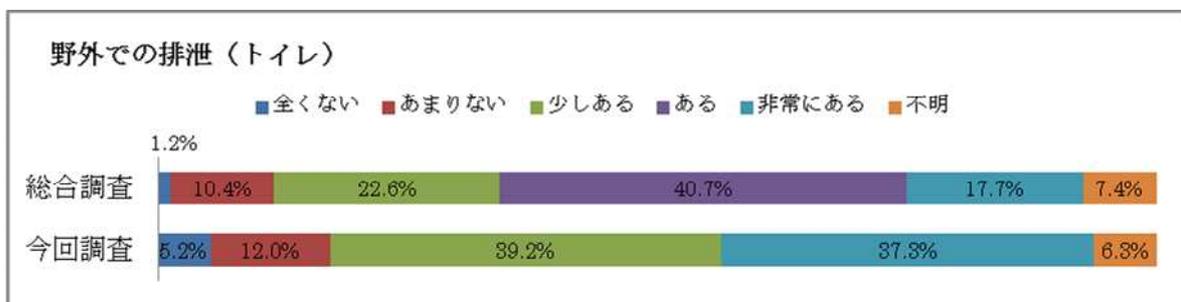


西丹沢仲ノ沢林道への自家用車乗り入れと水場利用

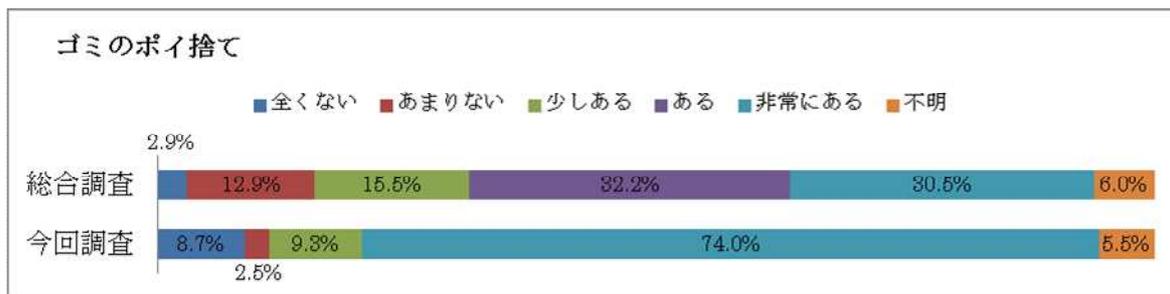


前回の調査と比べ「影響ない」がわずかに増えていますが誤差の範囲に思えます。

丹沢に於いては今後「エサやり」問題以外にも特定外来種を含むツキノワグマなどの哺乳類、野鳥などとの関係等も大切になってきます。

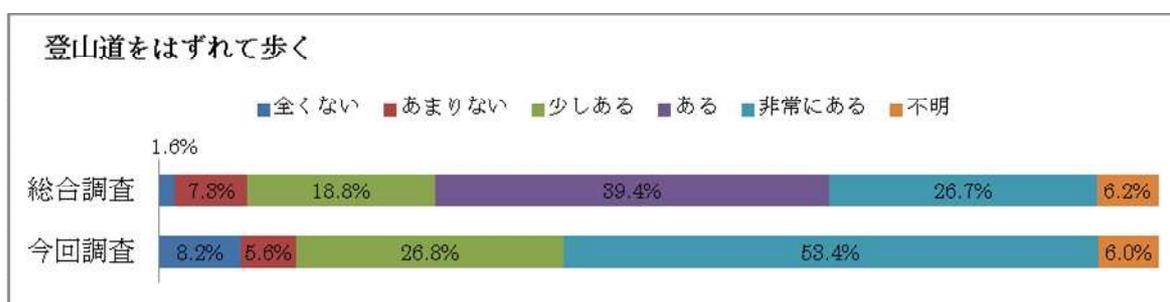


ごみのポイ捨てと違い「環境に影響ない」と思う人が増えています。 どうしてなのだろうか。自然のサイクルの一部と思う人が多いのか、それとも考えない人が多いのか？



環境へ影響あると思う人が増えました。嬉しいことです。

全国的に富士山などの世界遺産指定を通じて、ごみ問題などに対する意識が向上しています。



環境に影響無いと思っている人が13.8%に増えました。あらゆる機会に啓発活動を行い、理解を深めたいです。それが丹沢環境保護と登山者の危険回避に直接つながると思えます。



このようなイベントは最近多くなってきました。環境に影響が有るという回答者が73.2%もいます。登山者などから「山の中の登山道まで、レースを持ちこむ必要が有るのだろうか?」「環境の負荷になるのではないか?」等の声も聞こえます。

広く正面から議論などをし、また環境への影響を検証し、方向性を出すべき時期になっています。トレイルレースを行うとき、丹沢愛好家に賛同される方法確立し、理解されるよう啓発活動に努めるべきです。



表層土が流された人工林内の登山道

1 1 自然環境を保全する必要な取組み

丹沢大山の自然環境を保全するために、どのような取組みが必要かを自由意見として記載してもらったところ、

登山マナーやルールを普及するための啓発活動を行う。

緊急時対応のための救助活動拠点の設置や整備などをする。

入山規制や自家用車の乗入れ規制などについて考える。

イベントのあり方等について討論をし、方向性を出す。

募金や寄付金、入山料徴収等について検討してみる。

など多岐にわたる意見がありました。

特に、募金や寄付金、入山料を徴収することは、必要な整備に充てる事が出来るだけでなく、自然環境保全にかかる意識の向上も図られるとの意見も多く見られました。

総合調査時には、入山料等について金額（1回につき1人50円、100円、150円、200円以上）を選択してもらいました。今回は登山者から自発的に自由意見として回答がありました。

この事は、山岳トイレのチップをはじめ、受益者負担にかかる考え方が、利用者の意識に浸透してきたと考えられます。

登山者の環境意識が向上し「私達の丹沢環境は行政ばかりでなく、丹沢登山者、来訪者、神奈川県民が皆で負担をし、環境行動を行い守り育てる」という共通認識が定着してきたように思えます。

1 2 まとめ

ここ10年、日本でも世界遺産という言葉がテレビなどで話題になっています。世界中のいろいろな場所で文化遺産、自然遺産が戦争や環境の変化、放置、観光などのため劣化、破壊の危機が増してきました。そのような中で、世界が協力して次世代に大切な文化や自然を残そうとする運動が世界遺産運動です。

丹沢登山者にも、このような世界的な環境保護の流れが影響を与え、ごみ問題など環境意識が高まっていると思われます。以前なら環境関係団体、専門家の持つ問題意識を、一般登山者も持ち合わせて来ています。

今回の環境意識調査により、少しずつではありますが環境意識が高まっていることが見て取れました。未来への希望が持てました。

これからは文化、環境保護、観光は相反するものでなく、それぞれがお互いの弱い部分を補強、援助するものであるという見方が大切です。この素晴らしい丹沢を未来の世代に残すため、エコツーリズム的考えに基づいた、環境保護と観光と丹沢行事などを並立させる取組みが考えられます。その実現のため公的機関、民間、ボランティア団体が協力して行くことも課題になるだろうと思われます。

スイスなどの外国の取組みなどを参考にしながら、例えば将来に於いて大気汚染や森林保護のため自家用車の乗り入れ禁止、バス輸送、電気自動車普及、などなどの計画を大胆に提起します。そしてこれらの計画に対して全県的に騒然たる議論を巻き起こしたらどうだろう。それが県民の環境意識の向上になり、次世代への丹沢遺産を引き継ぐ基盤になるだろう。

参考文献

「丹沢大山総合調査学術報告書（2007） 登山者の登山環境に関する意識」



親から子へ遺す丹沢自然文化遺産（塔ノ岳山頂より展望）

写真提供、丹沢自然学校 小林昭五氏



丹沢大山 登山環境意識調査

丹沢大山地域での登山にかかわる利用の実態、目的、自然環境保全意識などの把握を目的としたアンケート調査を実施しています。

ご回答者について

記入日 平成 26 年 月 日

ご住所 神奈川県・() 都道府県

性別・年齢 男・女 歳

ご職業 会社員・自営業・公務員・専業主婦(夫)・無職・学生・その他

1 丹沢大山地域へのこれまでの登山回数は？

初めて・2～9回・10回以上(回くらい)

2 登山の装備・準備は万全ですか？ ×を記入してください

()登山靴や運動靴・()地図・()コンパス・()ヘッドランプと予備電池

3 登山届は？ 届出済・登山口で投函する・届出が必要なことを知らなかった

・届出が必要なことは知っているが提出していない

4 登山の目的は？(複数可)

健康維持増進・縦走・自然観察・写真、写生・ハイキング・岩、沢登り・バードウォッチング・とにかく山頂を目指す・森林浴・その他()

5 丹沢大山の魅力は？(複数可)

富士山が見える・丹沢の山並みや眺望・植物など四季のうつろい・野生動物・沢や滝・都心に近い・交通の便がよい・車で入りやすい・登山道や山小屋などの施設(施設名)・その他()

6 丹沢大山地域で実施している行事等で参加したことがあるものは？(複数可)

植樹・植生モニタリング・動物モニタリング・森林整備・登山道整備
クリーンハイク(清掃登山)・ハイキング、ウォーキングイベント・岩登り、沢登り・
トレイルレース・ポッカ駅伝・自然観察会、学習会・炭焼き・クラフトづくり

7 登山道等施設の整備状況は？

良好・普通・もっと整備が必要

(ご意見)

8 丹沢大山地域の水場を利用したことがありますか？

ある(よく利用する水場は) ・ ない

9 丹沢大山では、野外やトイレでの使用済みのトイレ紙の持ち帰りをお願いしていることを知っていますか？

知っている 持ち帰っている ・ 持ち帰らない

知らなかった 持ち帰っている ・ 持ち帰らない

10 次の事項について自然環境への影響はどの程度だと考えますか？

自家用車の乗り入れ 全くない ・ あまりない ・ 少しある ・ 非常にある

野生動物へのエサやり 全くない ・ あまりない ・ 少しある ・ 非常にある

野外での排泄(トイレ) 全くない ・ あまりない ・ 少しある ・ 非常にある

ゴミのポイ捨て 全くない ・ あまりない ・ 少しある ・ 非常にある

登山道はずれて歩く 全くない ・ あまりない ・ 少しある ・ 非常にある

トレイルレースなどのイベント 全くない ・ あまりない ・ 少しある ・ 非常にある

11 丹沢大山地域で今後必要な登山関連施設は？(複数可)

バイオトイレ ・ 野外卓、休憩所 ・ 携帯電話の中継塔 ・ 指導標や案内板 ・ 避難小屋
その他()

12 丹沢大山の自然環境を保全するためには、どのような取組みが必要だと考えますか？

[]

ご協力ありがとうございました。

アンケートの回収方法

秦野、宮ヶ瀬、丹沢湖の各ビジターセンター、西丹沢自然教室、ヤビツ峠売店、大山観光案内所、山小屋(鍋割山荘、尊仏山荘、みやま山荘、蛭ヶ岳山荘)に設置されている回収箱へ入れてください。アンケートを配布している担当者が回収します(その場でご記入いただける場合)

実施期間

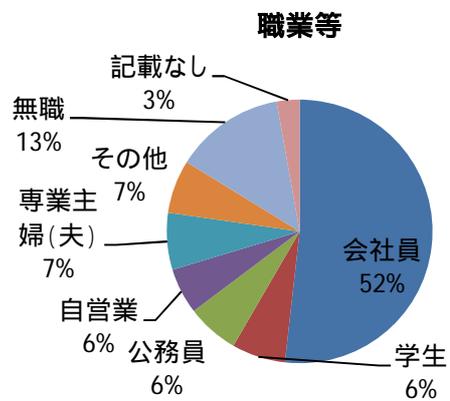
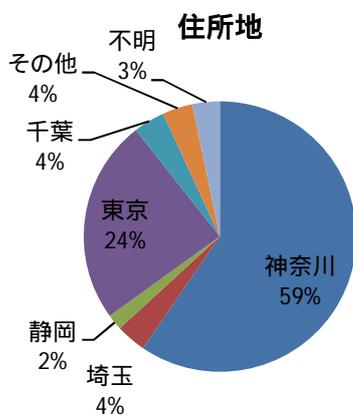
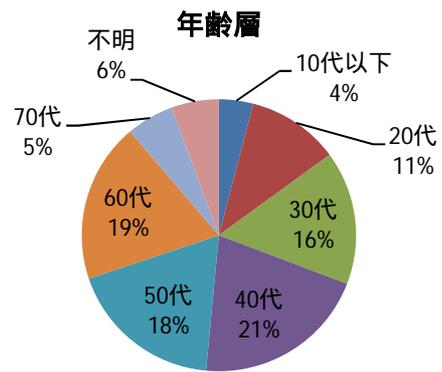
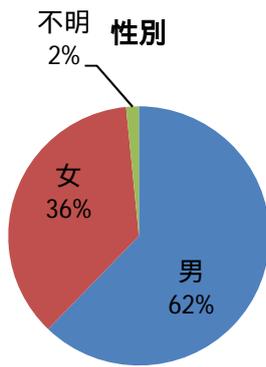
平成 26 年 6 月 ~ 平成 26 年 11 月

実施：丹沢大山ボランティアネットワーク

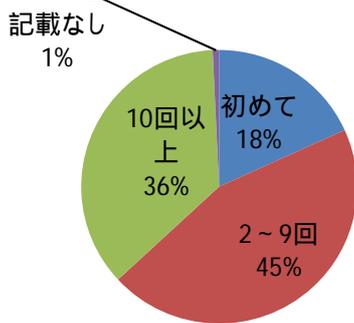
協力：神奈川県自然環境保全センター自然保護課(電話 046-248-6682)

グラフで見るアンケート結果

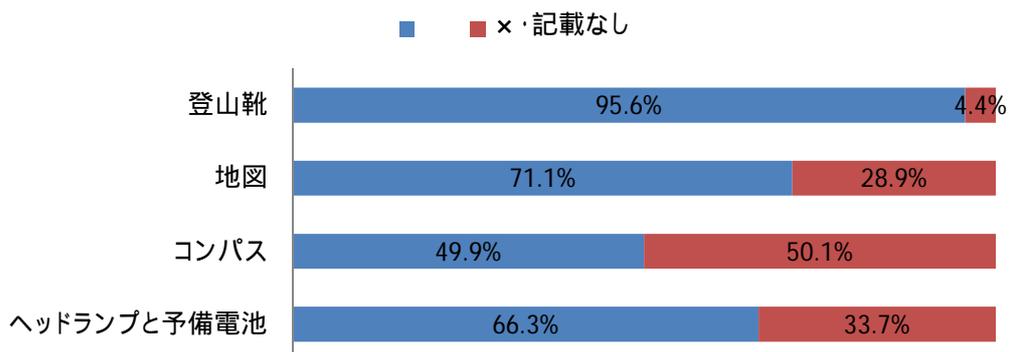
1 全体



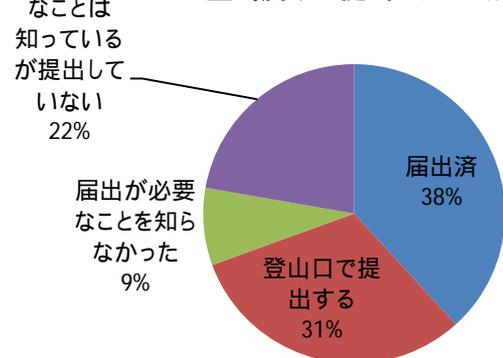
1 丹沢大山地域での登山回数



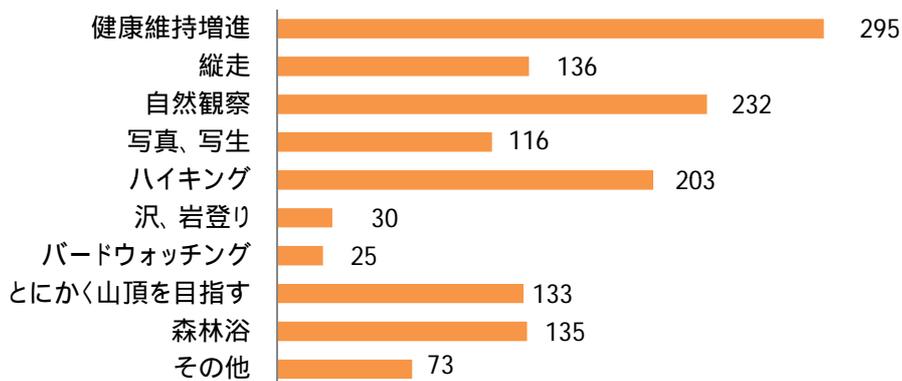
2 登山の装備・準備は万全ですか？



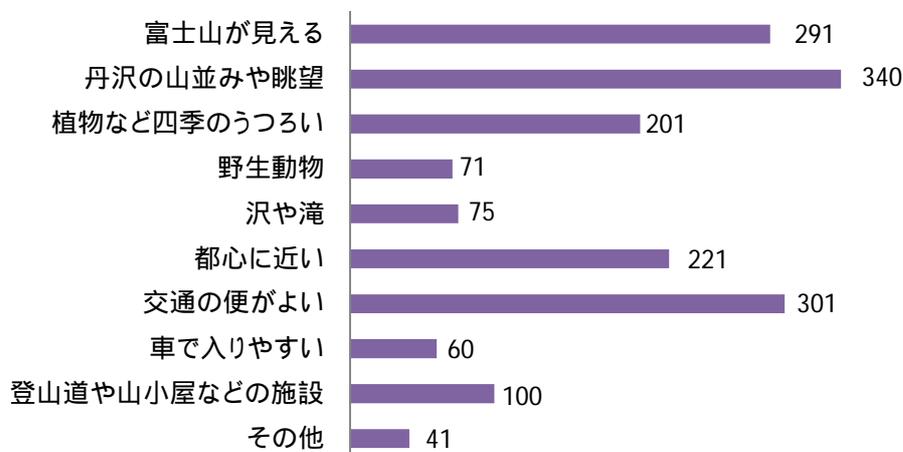
3 登山届けは提出しましたか？



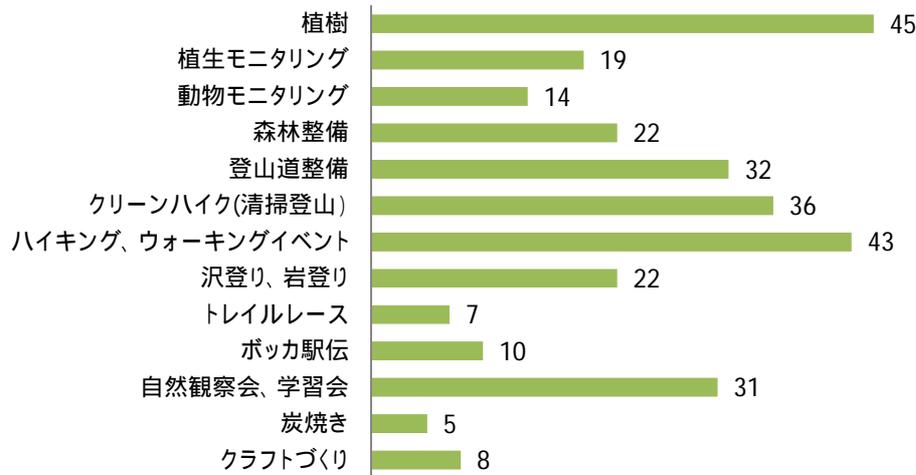
4 登山の目的は何ですか？(複数回答)



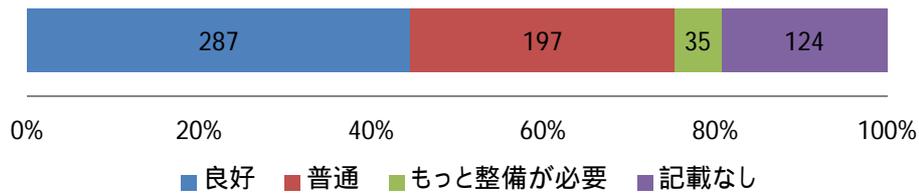
5 丹沢大山の魅力は？(複数回答)



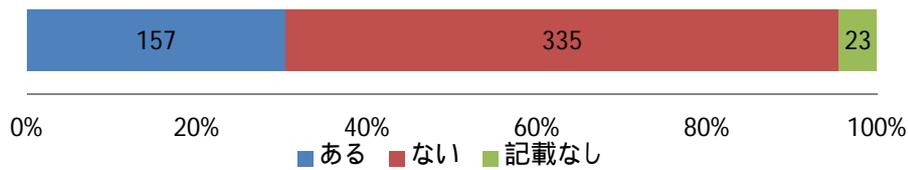
6 丹沢大山地域で参加したことがあるものは？(複数回答)



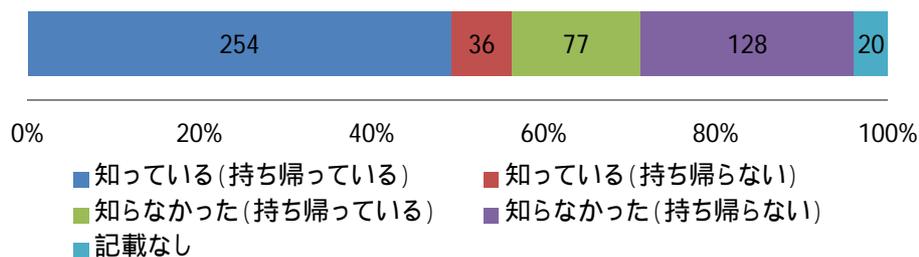
7 登山道の整備状況は？



8 丹沢大山地域の水場を利用したことがありますか？



9 丹沢大山では使用済みのトイレ紙の持ち帰りをお願いしていることを知っていますか？

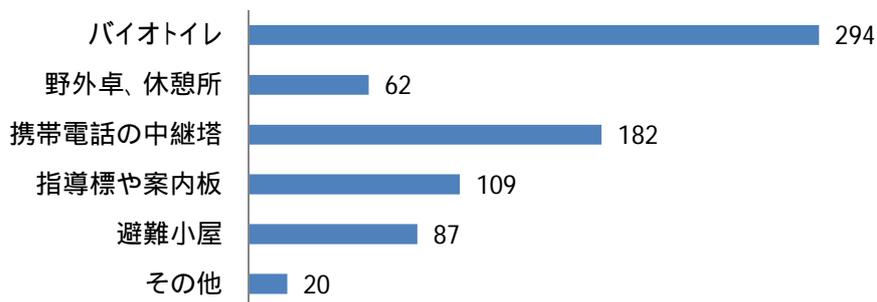


10 自然環境への影響はどの程度だと思いますか？

■ 全くない ■ あまりない ■ 少しある ■ 非常にある ■ 不明



11 丹沢大山地域で今後必要な登山関連施設は？(複数回答)



2 男女別

年齢層

■ 10代以下 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 不明



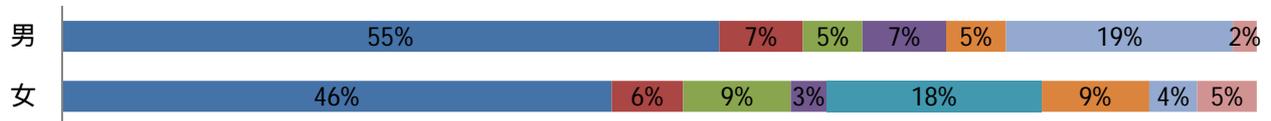
住所地

■ 神奈川 ■ 埼玉 ■ 静岡 ■ 東京 ■ 千葉 ■ その他 ■ 不明



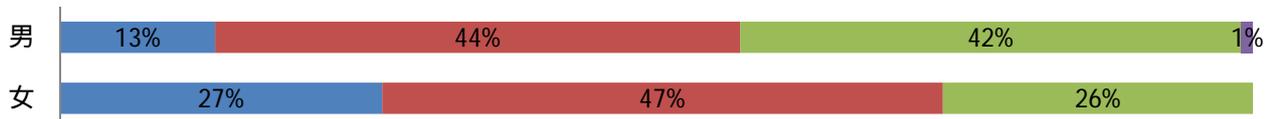
職業等

■ 会社員 ■ 学生 ■ 公務員 ■ 自営業 ■ 専業主婦(夫) ■ その他 ■ 無職 ■ 記載なし



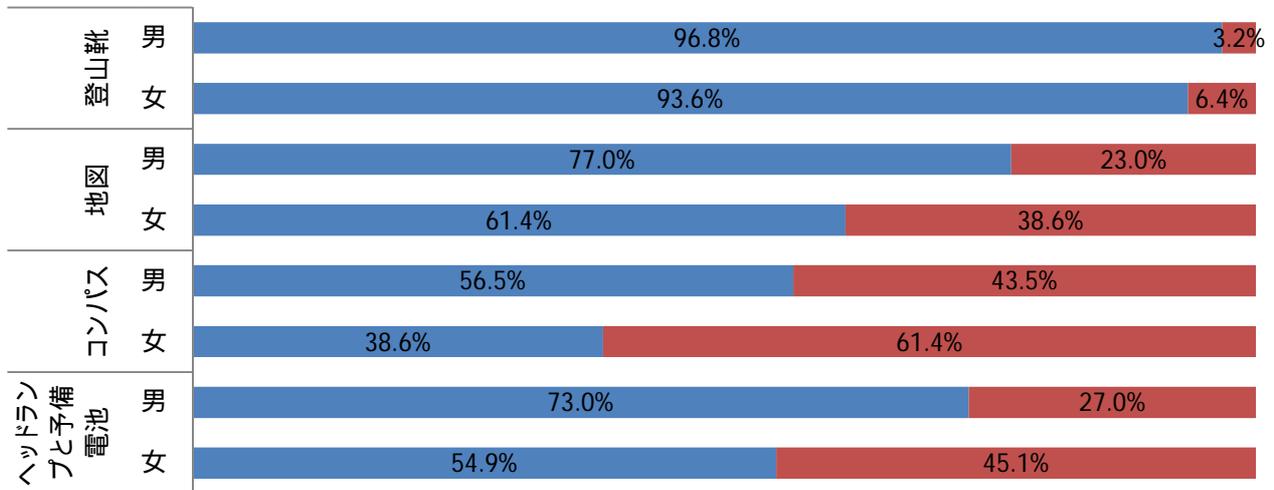
1 丹沢大山地域での登山回数

■ 初めて ■ 2~9回 ■ 10回以上 ■ 記載なし



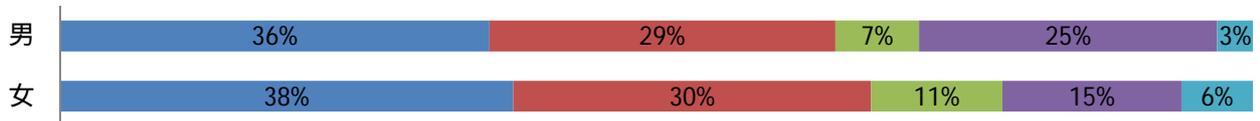
2 登山の装備・準備は万全ですか？

■ ×・記載なし



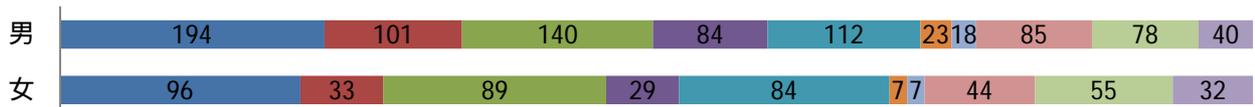
3 登山届けは提出しましたか？

■ 届出済
 ■ 登山口で提出する
 ■ 届出が必要なことを知らなかった
 ■ 届出が必要なことは知っているが提出していない
 ■ 記載なし



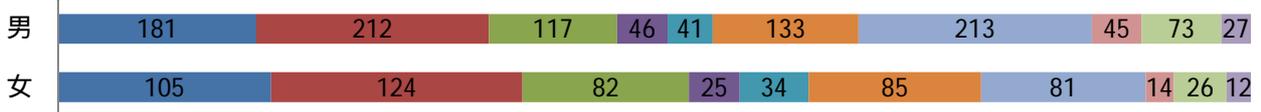
4 登山の目的は何ですか？(複数回答)

■ 健康維持増進
 ■ 縦走
 ■ 自然観察
 ■ 写真、写生
 ■ ハイキング
 ■ 沢、岩登り
 ■ バードウォッチング
 ■ とにかく山頂を目指す
 ■ 森林浴
 ■ その他



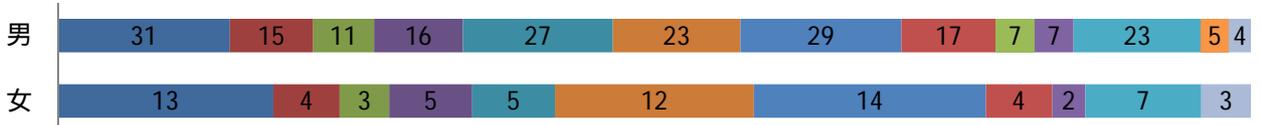
5 丹沢大山の魅力は？(複数回答)

- 富士山が見える
- 丹沢の山並みや眺望
- 植物など四季のうつろい
- 野生動物
- 沢や滝
- 都心に近い
- 交通の便がよい
- 車で入りやすい
- 登山道や山小屋などの施設
- その他



6 丹沢大山地域で参加したことがあるものは？(複数回答)

- 植樹
- 植生モニタリング
- 動物モニタリング
- 森林整備
- 登山道整備
- クリーンハイク(清掃登山)
- ハイキング、ウォーキングイベント
- 沢登り、岩登り
- トレイルレース
- ボッカ駅伝
- 自然観察会、学習会
- 炭焼き
- クラフトづくり



7 登山道の整備状況は？

- 良好
- 普通
- もっと整備が必要
- 記載なし



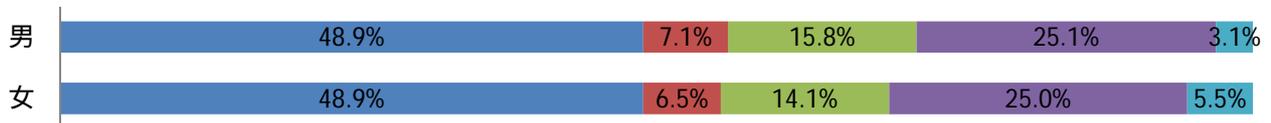
8 丹沢大山地域の水場を利用したことがありますか？

■ ある ■ ない ■ 記載なし



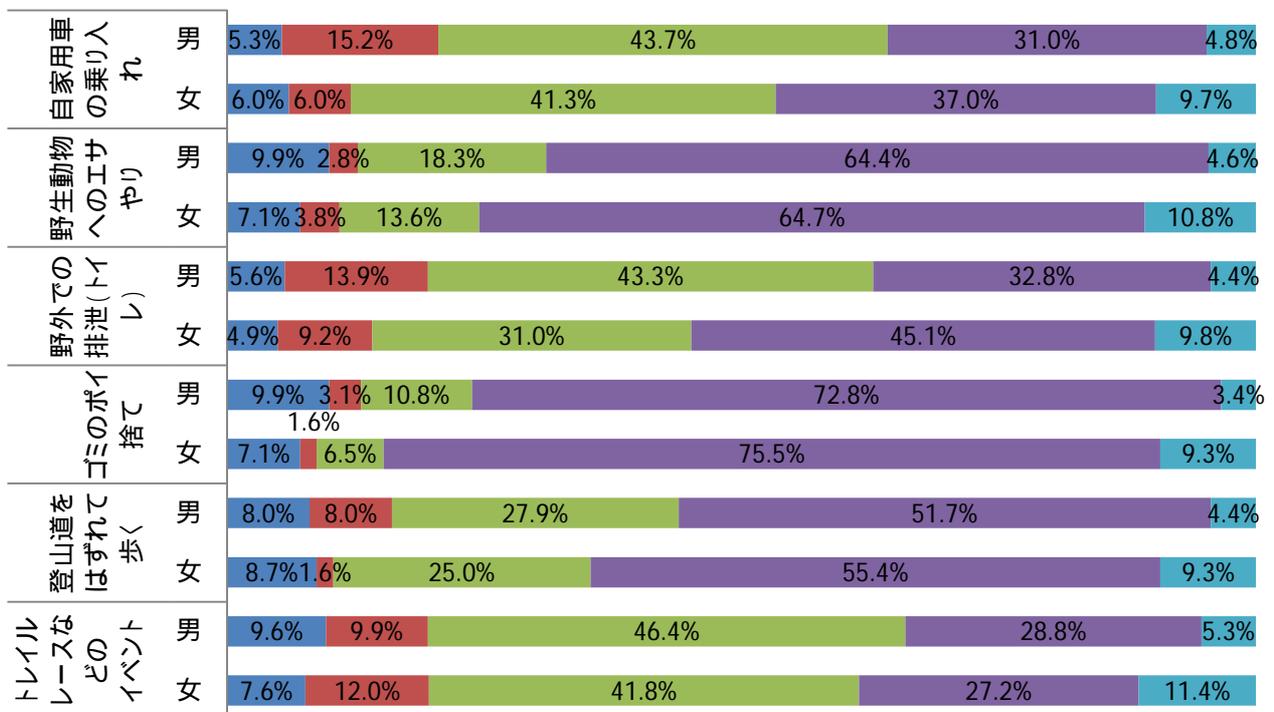
9 丹沢大山では使用済みのトイレ紙の持ち帰りをお願いしていることを知っていますか？

■ 知っている(持ち帰っている) ■ 知っている(持ち帰らない) ■ 知らなかった(持ち帰っている)
 ■ 知らなかった(持ち帰らない) ■ 記載なし



10 自然環境への影響はどの程度だと思いますか？

■ 全くない ■ あまりない ■ 少しある ■ 非常にある ■ 不明



11 丹沢大山地域で今後必要な登山関連施設は？(複数回答)

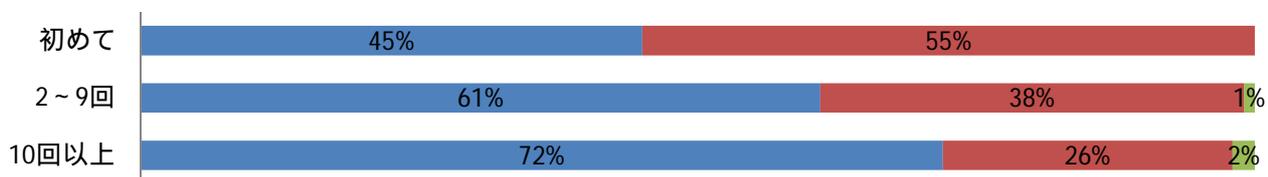
■ バイオトイレ ■ 野外卓、休憩所 ■ 携帯電話の中継塔 ■ 指導標や案内板 ■ 避難小屋 ■ その他



3 登山回数別

性別

■ 男 ■ 女 ■ 不明



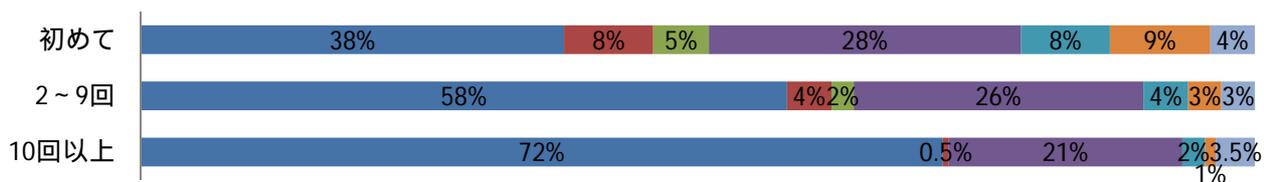
年齢層

■ 10代以下 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 不明



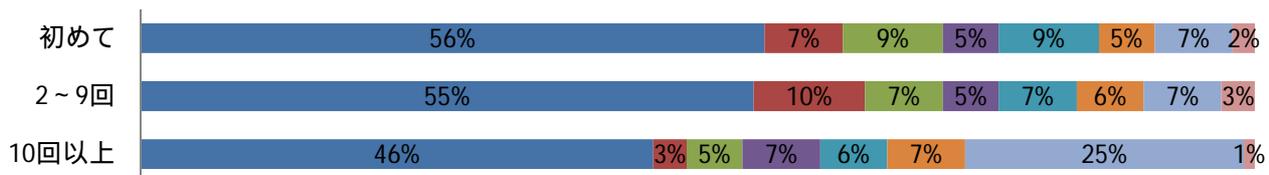
住所地

■ 神奈川 ■ 埼玉 ■ 静岡 ■ 東京 ■ 千葉 ■ その他 ■ 不明



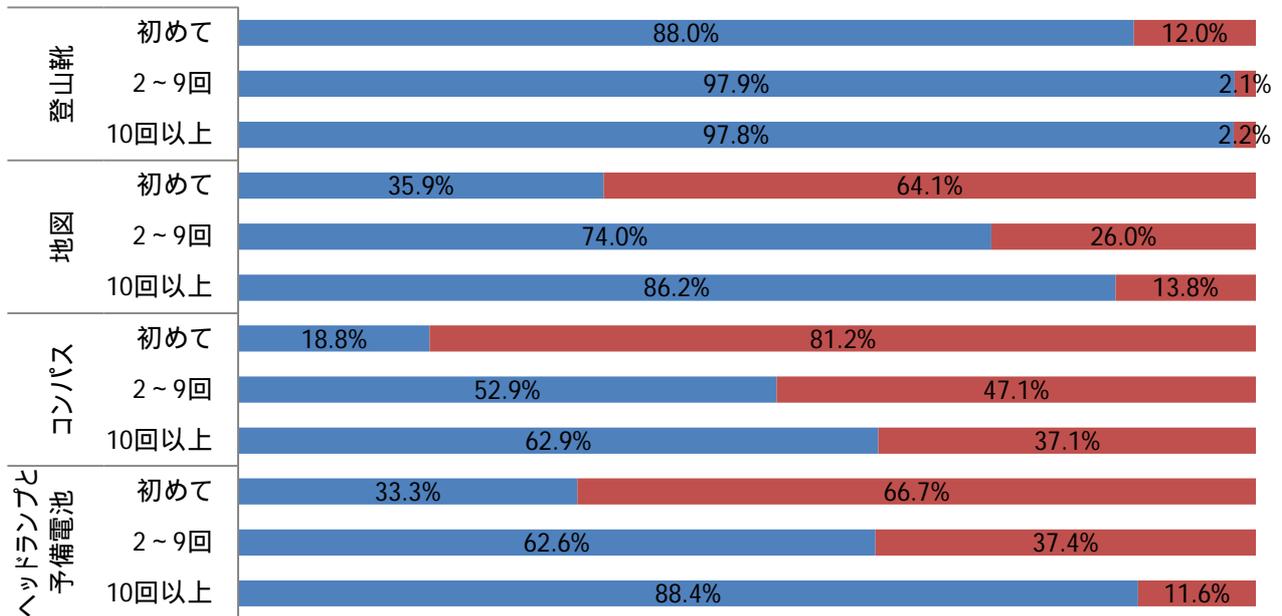
職業等

■ 会社員 ■ 学生 ■ 公務員 ■ 自営業 ■ 専業主婦(夫) ■ その他 ■ 無職 ■ 記載なし



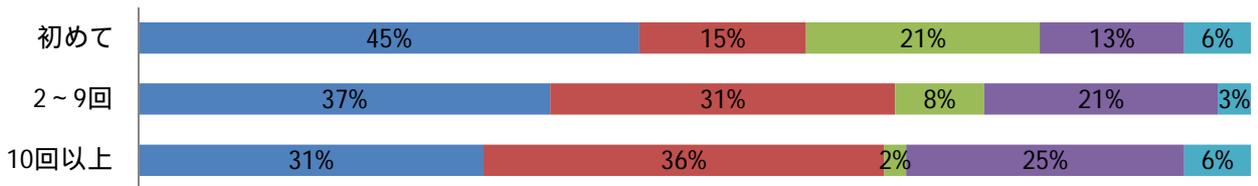
2 登山の装備・準備は万全ですか？

■ ×・記載なし



3 登山届けは提出しましたか？

■ 届出済
■ 登山口で提出する
■ 届出が必要なことを知らなかった
■ 届出が必要なことは知っているが提出していない
■ 記載なし



4 登山の目的は何ですか？(複数回答)

■ 健康維持増進 ■ 縦走 ■ 自然観察 ■ 写真、写生
■ ハイキング ■ 沢、岩登り ■ バードウォッチング ■ とにかく山頂を目指す
■ 森林浴 ■ その他



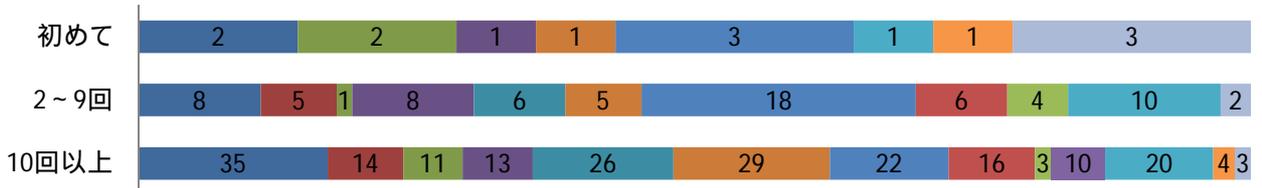
5 丹沢大山の魅力は？(複数回答)

- 富士山が見える
- 丹沢の山並みや眺望
- 植物など四季のうつろい
- 野生動物
- 沢や滝
- 都心に近い
- 交通の便がよい
- 車で入りやすい
- 登山道や山小屋などの施設
- その他



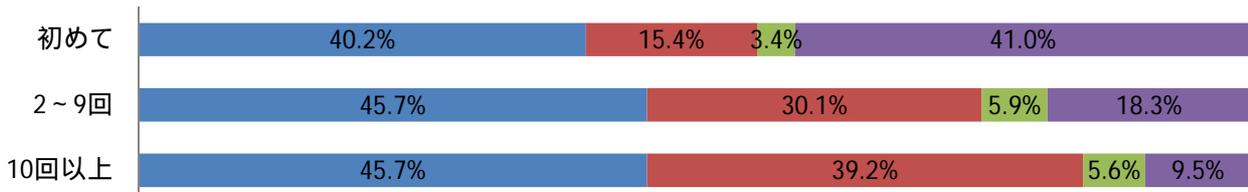
6 丹沢大山地域で参加したことがあるものは？(複数回答)

- 植樹
- 植生モニタリング
- 動物モニタリング
- 森林整備
- 登山道整備
- クリーンハイク(清掃登山)
- ハイキング、ウォーキングイベント
- 沢登り、岩登り
- トレイルレース
- ボッカ駅伝
- 自然観察会、学習会
- 炭焼き
- クラフトづくり



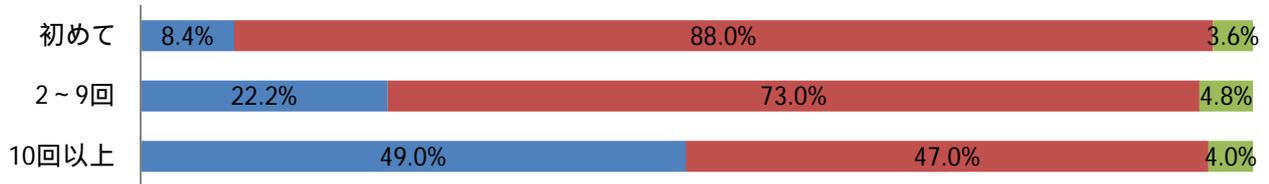
7 登山道の整備状況は？

- 良好
- 普通
- もっと整備が必要
- 記載なし



8 丹沢大山地域の水場を利用したことがありますか？

■ ある ■ ない ■ 記載なし



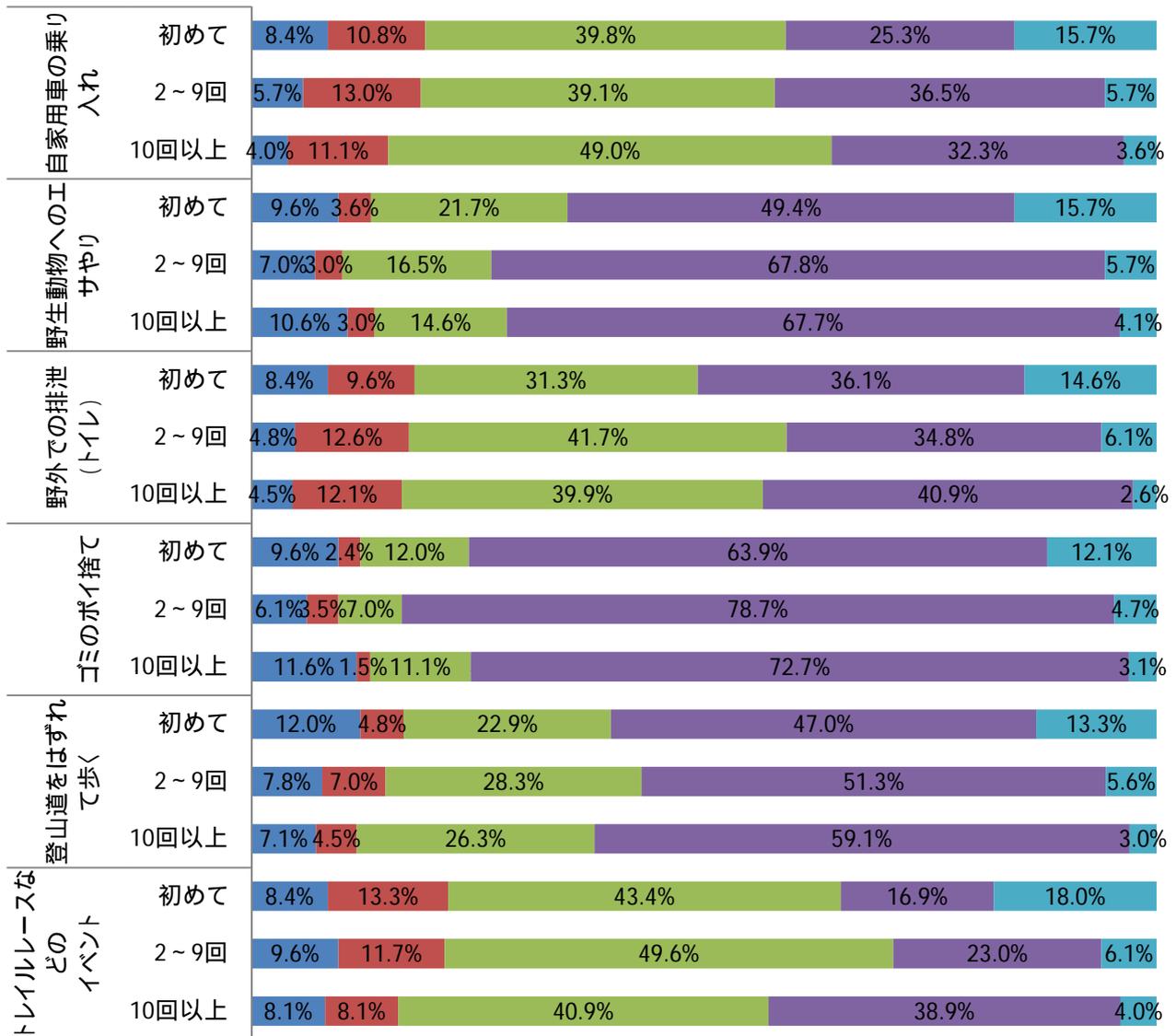
9 丹沢大山では使用済みのトイレ紙の持ち帰りをお願いしていることを知っていますか？

■ 知っている(持ち帰っている) ■ 知っている(持ち帰らない) ■ 知らなかった(持ち帰っている)
 ■ 知らなかった(持ち帰らない) ■ 記載なし



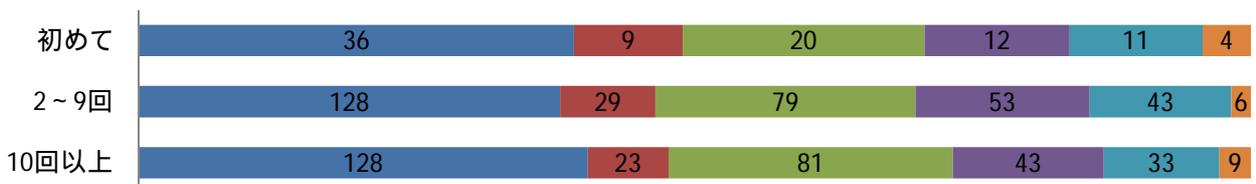
10 自然環境への影響はどの程度だと思いますか？

■ 全くない ■ あまりない ■ 少しある ■ 非常にある ■ 不明



11 丹沢大山地域で今後必要な登山関連施設は？ (複数回答)

■ バイオトイレ ■ 野外卓、休憩所 ■ 携帯電話の中継塔 ■ 指導標や案内板 ■ 避難小屋 ■ その他



平成 28 年 2 月 印刷

平成 28 年 2 月 発行

編集 丹沢大山ボランティアネットワーク